



「なんでもござれ」を読んで
皆野小4年 田島風舞季くん

夏休みが始まったころ、朝のニュースを見ていて気がついたことがありました。それは、お天気コーナーでの一言。「台風が太平洋上に・・・。」
なんで台風は、みんなうずまき

なんだろう？竜巻もうずまき？僕は不思議に思っ、お父さんに聞いてみました。するとお父さんは少し困った顔をして、「地球が回っているからだ。」と、言いました。その時、僕は意味がわかりませんでした。

夏休みも残り二週間になって、宿題の読書感想文を書くために、お母さんに本屋さんに連れて行ってもらいました。本屋さんのたなの上から下まで目を通すと、少し気になる題名「ぐるぐるうずまき」。台風についてお父さんと話したことを思い出して、この本を読むことに決めました。家に帰り、さっそく本を読んだら、

「身の回りにはたくさんのお父さんうずまきがあり、小さなものはかり線香やねじ、ソフトクリームなど、大きなものは銀河系まである！」

僕の「台風はなぜうずまきなんだらう。」から始まった小さな疑問が、行き着くところ銀河系にまでなっていました。

僕はこの本から、どんな小さなことでも興味をもって読んだり調べたりしてみれば、いろいろな可能性があることがわかりました。とても楽しく読むことができました。

(評) 風舞季君の可能性も宇宙以上に広がっていくといいですね。

皆野小5年

新井未奈萌さん



(評) 全体のバランスがよくとれています。筆使いが丁寧で、美しい線の作品になりました。

国神小6年

山崎真弓美さん



(評) 字のバランスを考えて、ていねいに書きました。入り、はねがきれいです。

「水は大すき」

三沢小2年

扇原志穂さん



(評) うでを大きくのばしてういたり、およいだり。たのしそうにかけました。



「パズル」

皆野中3年

関根裕美さん



(評) いろいろな図柄を取り入れ、夢のような作品になりました。

